

在宅取組型（小学校）



団体名	美濃加茂市立古井小学校
実施日時	平成28年度(夏休み・12月) 年2回実施
会場	各家庭
参加人数	全校生徒626名の家庭
学習課題(分野)	ニコピーありがとう週間
運営者の願い	子どもたちが、家族に褒められ感謝されることで、自分を肯定して、自分の存在に自信をもてるようにする。また、子どもたちが、家族にありがとうの気持ちをカードに書いて伝えることで、家族の絆をより深め、親子のコミュニケーションを大切にすることにつなげる。

学 習 の 内 容

<取組内容>

平成27年度に、親子の絆を深める目的で「ニコピーありがとう週間」を行い、保護者から子どもに「ありがとうカード」を1日1枚渡し、子どもが台紙に貼ってためる活動を行った。1週間取り組んだところで、感想を書いてもらい、それを『ニコピーのあったかファミリー集Ⅱ』にまとめて、各家庭に配布した。

平成28年度は、夏休みに「ニコピーありがとう週間」を行い、12月に、今度は子どもたちが保護者に向けて「ありがとうカード」を渡す活動を行った。

2回目も感想を書いてもらったので、『ニコピーのあったかファミリー集Ⅲ』にまとめて、各家庭に配布予定。

<1回目 実施の流れ>

- ・夏休み前に、要項とカード、台紙を各家庭に配布・・・案内のおたより※1 記録カード※2
- ・2学期始業式に 感想用紙と台紙を回収
- ・成人委員会にて、感想をまとめる
- ・通信にまとめて、12月初めに配布 ……報告のおたより※3

<2回目 実施の流れ>

- ・12月初めに、「ニコピーありがとう週間2」についての要項とカード、台紙を各家庭に配布
- ・12月下旬に感想用紙と台紙を回収
- ・成人委員会にて、感想をまとめる
- ・通信にまとめて全家庭に配布予定

<実施後の感想>

～子ども～

- ・お母さんや家族が喜んでくれてうれしかった。(1年)
- ・「ありがとう」と言われることをやると、心があったかくなるから、これからもやろうと思った。(2年)
- ・気持ちよかった。うれしくて、やった後「やりきったぞー」という気持ちになった。(4年)
- ・お母さんの仕事のつらさもわかったし、助け合いたいと思った。また、一緒にやることで会話が増えたのでうれしかった。(6年)

～保護者～

- ・お手伝いなど当たり前のようになっていたことも、改めて見直す子どもの成長を感じた。心の成長を知ることができて親としてもうれしかった。(1年 保護者)
- ・言葉にして、文章にして「ありがとう」を伝えることは大切だなあと、子どものはにかんだ笑顔を見て思った。こちらも幸せな気持ちになった。(3年 保護者)
- ・毎日あわただしく過ぎていく日々の中、なかなか声をかけてあげられなくて、悪いことばかり目について怒っていた。この取組の中で子どもががんばっていることや私を助けようと思ってくれていることがわかった。これからはもっと声をかけていきたい。(5年保護者)
- ・わが家では面と向かって人をほめることをあまりしていなかった。今回の取組でそのことに気付いた。これからはよいところをしたらほめてあげられるよう習慣が身に着くとよいと思った。ほめる側の教訓になった。

家族で感謝の言葉をカードに書き、それを『だからもの』として貼り集めることで、残しておくことができる。

カード内容と実施した感想を通信にまとめて全家庭に配布することで、他の家庭のあったか言葉にも触れることができる。

『にこにこ』と『古井』を合わせて『ニコピー』という親しみやすいキャラクターを作り、イラストを保護者が描き上げた。



案内のおたより<※1>

家庭共育学報だより

【ニコピー♥ありがとう週間】について

古井小の家庭共育学報では、全家庭の交流活動をめざしています。127年度は、親子の絆を深める目的で、【ニコピー♥ありがとう週間】を行い、『ニコピーのあったかファミリー集Ⅱ』を作成して配布しました。

今年度の【ニコピー♥ありがとう週間】は夏休みに取り組んでいただきます。

【目的】 子どもたちが、家族に褒められ感謝されることで、自分を肯定して、自分の存在に自信をもてるようにする。

【方法】 ①1日1枚ずつ【ニコピー♥ありがとうカード】に、おうちのながい子どもに読んでほしいこと書いていただき、子どもに渡す。

(例) おふろそうじありがとう。ピカピカで髪もちよかっよ。
おにいちゃんとなかよくあそんでいるのもみてうれしかったよ。
なまよじてくれてありがとう。

子どもは、もらったカードを『ニコピーのだからもの』台紙に貼る。

②夏休みの終わりの7日間で取り組んだ感想を、親子で書く。

③始業式に、各担任へ感想用紙を提出する。

④家庭共育学報編集でまとめて、『ニコピーのあったかファミリー集 PARTⅢ』を発行する。

※ 【ニコピー♥ありがとうカード】は1日1枚ずつの1週間分です。足りない場合は、コピーしていただくか、ご家庭にあるメモ帳などを活用してください。

※ 行動だけでなく、その行動によってどんな良い影響があったかを具体的に書いていただく。「またやろう! もっとこうしてみよう!」という子どもたちのやる気も引き出すことができます。

記録カード<※2>

ニコピー♥ありがとうカード ※1枚ずつお子さんにお渡しください

月 日()

(例) くつをそろえてくれたから げん
かんがすっきりしてきもちいいね。
ありがとう。

無 より

月 日()

より

月 日()

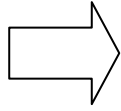
より

月 日()

より

月 日()

より



《ニコピー (なまえ) のたからもの》

ありがとうか
たくさん
たまわかな

2016.

保護者から「ありがとうカード」を子どもに渡す。子どもは「たからもの」としてカードを貼り集める。

家庭共育学級だより

※「ニコピー♥ありがとう週間」を盛り込んでおきましょう。

氏名 年

(どんなカードもよく、お母さんが 読んであげ) 届 書 欄

(ニコピー♥ありがとう週間が終わってどうだったかな? たからものをのこそう。)

(あつちの人から (この取組を通して感じたこと、お子さんに伝えたいことなど))

※数字の記入はなくても、お返しの宛先に、お月29日(月)に出してください

取り組んだ感想を記入し、活動を振り返る。たよりで他の家庭の様子を紹介し、共有する。

報告のおたより<※3>

家庭共育学級だより

家庭共育学級だより 発行 2016年12月7日 No.7

【ニコピー♥ありがとう週間】について

夏休みに【ニコピー♥ありがとう週間】に取り組んでくださり、ありがとうございます。

委員会で、提出いただいた全ての感想と「たからものカード」に目を通しました。読ませていただくと、こちらまで心が温かくなりました。ここに少し紹介します。

「ニコピー♥ありがとう週間」を終えてどうでしたか?

お母さんややさしくみんながよるこんでくれたりうれしかった。(1年)

おてっぺんがうれしかったよ。これからがんばります。(1年)

「ありがとう」と言われることをやるよ、心のあったかくなるから。それからやるよとおもいました。(2年)

おとうさん、お母さんがいつもくれていて、たくさんありがとうといってくれてうれしかった。(1年)

おもしろかった。うれしくてやった後「ゆるかったよーっ」という気持ちになった。(4年)

お母さんの仕事のことからかかったし、助け合いたいと思った。また、一緒にやることで会話が楽しめたのでうれしかった。(6年)

お母さん、あまり思っていないと書いていたけれど、「ありがとう」「助かったよ」など書いてもらってうれしかった。でも、私のことがお母さんに毎日覚えてもらっているのが「ありがとう」と思いました。(5年)

毎日、1枚カードをもらって笑顔になってうれしく思っています。ありがとうございます。(5年)

お母さんの仕事のことからかかったし、助け合いたいと思った。また、一緒にやることで会話が楽しめたのでうれしかった。(6年)

子どもの行動をしっかり見守ることができた一週間でした。今までほんのちょっとしたことを見逃していた、ほめていない毎日で、反省しました。そんなことに気が付かせてくれた一週間でした。(2年 保護者)

お手伝いなど当たり前のようになっていたことも、改めて見つめ直すことで子どもの成長を感じました。心の成長を知ることができて親としてもうれしかったです。(1年 保護者)

言葉にして、文章にして「ありがとう」を伝えることは大切だなあと、子どものほほにかんだ笑顔を見て思いました。こちらも幸せな気持ちになりました。(3年 保護者)

ありがたい言葉を付けることで、子どももうれしい気持ちになりました。この週間だけでなく普段からそう思っていることを伝えていきたいなと思います。(1年 保護者)

毎日あわだしく過ぎていく日々の中、なかなか声をかけてあげられなくて、悪いことばかり目について怒っていました。この取組の中で子どもががんばっていることや私を助けようと思ってくれていることがわかりました。これからはもっと声をかけていきたいです。(5年 保護者)

我が家では、面と向かって人をほめることをあまりしていませんでした。今回の取り組みでそのことに気が付きました。これからは良いことをしたらほめてあげられるよう習慣が身につくように思いました。ほめる側の数が増えました。(6年 保護者)

取組の中で感じられたお子さんの成長、そして、普段なかなか面と向かって言いがたい「ありがとう」「助かったよ」などのあたたかい言葉かけなど、親子にとって貴重な経験、宝物になったことと思います。中には、夏休み39日毎日取り組んで、カードを書いてくださった保護者の方、また、おじいちゃんやおばあちゃんなど家族全員から1枚ずつカードをもらったお子さんもみえました。

この取組を通して、親子でも常に感謝の気持ちを持ちながら生活すること、言葉にして伝えることがとても大切なんだと改めて感じました。

12月10日(土)から「ニコピー♥ありがとう週間 2」に取り組んでいただきます。詳しくは9日にお子さんを通じてカードを配ります。ご家族でまた宝物が増えるとうれしいです。